

(令和4)

2022年8月15日(月) 18:00-20:30

オンライン (Zoomミーティング) にて実施

対 象 音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、
教育・社会福祉関係者、学生、研究者 など

登 壇 者 リジー・ホスキン
(マンチェスター・カメラータ コミュニティ部長)
ヘレナ・ブル
(マンチェスター・カメラータ シニア・プロジェクト・マネジャー)
アミーナ・フサイン
(マンチェスター・カメラータ首席フルート奏者/音楽療法士、Music in Mind音楽家)
ナオミ・アタートン
(マンチェスター・カメラータ首席ホルン奏者/Music in Mind音楽家)

モデレーター 柿塚拓真
(神戸市民文化振興財団事業部演奏課 演奏担当課長)

料金・定員 無料、70名程度 **事前申込制、先着順、8月5日〆切**

いまや認知症は身近な存在となりましたが、あなたは認知症に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。認知症になってからも、生活は続きます。認知症のある方々、そして家族や友人が、少しでも豊かに過ごすために音楽が有効であるという研究結果も出てくるようになりました。

この公開レクチャー&ディスカッションでは、英国マンチェスター・カメラータを迎え、世界各地で高く評価される認知症対応プログラム「Music in Mind」から学びます。

- ・マンチェスター・カメラータと「Music in Mind」の概要
- ・認知症と共に生きる人にとっての音楽とは
- ・人を中心にするインタラクティブな音楽づくり
- ・音楽で語りあうためのテクニック
- ・これまでをふりかえって（音楽家、介助者、認知症患者の声から）ほか



<<< 公演詳細・お申込みはこちら

<https://www.t-bunka.jp/stage/15960/>

主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

協力：豊中市市民ホール等指定管理者

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会
スズキ
ブリティッシュ・カウンシル

【お問合せ】東京文化会館 事業係 03-3828-2111（代表） WEB: t-bunka.jp Twitter: @tbunka_official

Music Program TOKYO

公開レクチャー

ディスカッション

Vol. 3

Music Program TOKYO Workshop Workshop! コンビリアル・プロジェクト
社会包摂につながるアート活動のためのレクチャー&トレーニング

認知症と生きる人たちと紡ぐ音楽、音の会話
—英国マンチェスター・カメラータの事例から—

日英通訳
手話通訳